

法大ボクシング部・穎川監督に聞く／BOX

2016.5.1 13:21

ユニフォーム胸元中央、オレンジ色の「H」エンブレムが伝統の法大ボクシング部。東京六大学の中で唯一、関東大学1部リーグに所属。創部から90年以上の歴史を有し、全日本チャンピオンを多数輩出している伝統校だ。バルセロナ五輪代表・土橋茂之、記憶に新しい「商社マンボクサー」ことプロボクシング元WBCライトフライ級王者・木村悠(帝拳)や、元WBA世界フライ級王者・レパード玉熊(国際)らもOBだ。そんな法大ボクシング部を指揮する穎川(えがわ)徳夫監督に、5月14日(土)に開幕する第69回関東大学ボクシングリーグ戦について話を聞いた。(岩崎仁)

——今年の目標は

法大・穎川監督「近年は1部リーグAクラス(全6校中、1位から3位)定着を目指す厳しい状況ではあるものの、1924年創部で90年以上の歴史の中において1部リーグ優勝経験がなく、優勝は長年の悲願だ」

——法大ボクシング部の特徴は

「1部校の中で唯一、合宿所制ではない。そのような環境の中で、私が部員一人一人から煩わしがられるほど声をかけて親密な関係を作っている。全日本ランカーもミドル級の森脇唯人(駿台学園)のみ。2部リーグ校の方がランカーを多く有する大学があるかもしれない。昨年は1部リーグ最下位となり、入替戦で中大に勝利して残留したが、ここぞという時には団結力を発揮する」

「副将の2人、田中風雅(南京都)をコンプライアンス担当、齋藤優雅(巻総合)をエデュケーションリーダーに任命。女性主務の平岩佑梨には2年生の時からセコンドの仕事もしてもらっている。彼女はチームの雰囲気づくりに貢献している。内部統括のために、部員一人一人に役割を与えており、会社組織に近く、チームワークに活かしている。部員の授業の履修状況を把握し、単位取得のための具体的、かつ、効果的なアドバイスなども行っている。練習は朝8時から皇居を1周するロードワークに続いて、市ヶ谷校舎にある27階建て「ボアソナード・タワー」の階段を上から下までダッシュで2往復。皇居は四季折々の季節を感じられるため、厳しいロードワークの気分を和らげてくれる」

「その後、各自、授業に参加し、夕方は15時から2時間半のジムワーク。内容はサンドバック、マスボクシング、ミットが中心。指導者がいる場合はスパーリングを行う。その後、筋トレ、体幹トレーニングを全員で行う。」

文部科学省からスーパーグローバル校に指定されていることもあり、2名ほどフランス人留学生が部員として在籍した時期もあった。今でもSNSで部員は交流があるようだ。部員にはいろいろな学生と人間関係を作ってもらいたい」

——チームのキーマンは

「1部校の中では最も部員が少ないので、全員がキーマンとなって団結してもらっている」

——高校生のスカウト体制について

「全国大会に足を運ぶとともに、新聞、雑誌、高校の先生や全国のOBから情報を集めている」

——学生時代にボクシングに取り組む学生に対して

「ボクシングは「野蛮」とか「危険」といったイメージがあるかもしれない。しかし、そんなイメージとは違い、自己管理能力、メンタルコントロールを必要とし、常に冷静に、うろたえることなく自分の能力を発揮しなければならない。ただガムシヤラに練習をしているだけでは試合には勝てず、どうすれば勝てるのか考えて練習する能力も必要だ。加えて、過酷な減量と様々な誘惑を断ち切らなければならない。私はボクシングと学業を両立し、厳しい練習と減量を乗り越えてリングで戦う学生を素晴らしいと思うとともに、尊敬すらしている。私は今、お世話になったボクシングに「恩返し」をしているが、学生も将来、そのような気持ちになってもらいたい。ぜひ、ボクシングを崇高なものにしてもらいたい」

——監督にとっての関東大学ボクシングリーグ戦とは

「今でも、控室から選手入場をしてリングに上がり、眩しく熱い照明を浴び、対戦校に挨拶をして、チームの仲間と円陣を組んだ後楽園ホールという舞台を覚えている。デビュー戦の対東農大戦では、「H」エンブレムのユニフォームに異常なまでのプライドを持って戦った記憶がある。リーグ戦は、ボクシングという個人スポーツでありながら、皆で練習し、準備をして試合に臨む団体スポーツ的な要素もある。大学対抗のリーグ戦は、法政大学という誇り、全OBの気持ちを背負って戦う特別な大会である。このような大会を続けてきた関係者にも感謝している。ここからオリンピック選手やプロの世界チャンピオンが誕生する夢の舞台でもある」

「卒業してしまえばずっとOBだが、戦えるのはたったの四年間だけ。学生には、この四年間の1試合1試合を大切にしてほしい。自分のためではなく、世話になった人、家族、すべての人々のために、途中で試合を諦めることができないほどの思いを背負って戦ってほしい」

法政大学ボクシング部

1924年創部。全日本チャンピオン多数輩出。プロボクシング元WBA世界フライ級王者・レパード玉熊、元WBC世界ライトフライ級王者・木村悠はOB

颯川徳夫監督

1963年11月5日生まれ 東京都出身